

LIGHTING PANEL FOR VESTIBULE

Patent Number: JP8021159
Publication date: 1996-01-23
Inventor(s): HIRAMATSU MITSURU
Applicant(s): SEKISUI CHEM CO LTD
Requested Patent: ☐ JP8021159
Application Number: JP19940157133 19940708
Priority Number(s):
IPC Classification: E06B3/00
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To obtain a vestibule door having high-grade feeling by using one glass plate for natural lighting and mounting a style shielding a part of the glass plate for natural lighting on the outdoor side in a lighting panel, to which the glass plate for natural lighting is fitted, for a vestibule.

CONSTITUTION: U-shaped fittings are installed to channel steel on the inside of a frame body 1 by screws, casings 3 are set up to the U-shaped fittings by screws, and ground glass 2 is borne into the recessed grooves of the U-shaped fittings through packings made of a rubber. The glass plate 2 is surrounded by the casings 3 at two places and exposed through opening sections 31 on the outdoor side of a lighting panel for a vestibule, and the glass plate 2 is surrounded by the casing 3 at one place and exposed through an opening section 31 on the outdoor side. One glass plate 2 is used, a style 4 shielding a part of the glass 2 is mounted on the outdoor side, and high-grade feeling is acquired as if a plurality of the glass plate for natural lighting were employed on the outdoor side.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-21159

(43)公開日 平成8年(1996)1月23日

(51)Int.Cl.⁶

E 0 6 B 3/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

C

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平6-157133

(22)出願日 平成6年(1994)7月8日

(71)出願人 000002174

積水化学工業株式会社

大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号

(72)発明者 平松 充

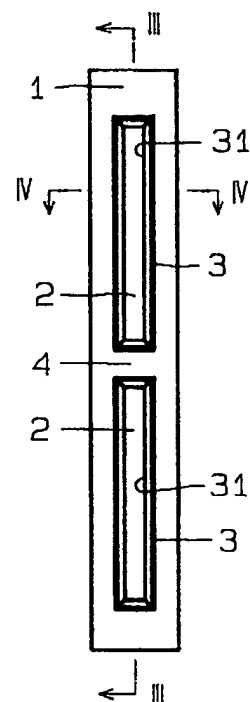
茨城県つくば市松代1-22-1

(54)【発明の名称】 玄関用採光パネル

(57)【要約】

【目的】 高級感が得られ、しかもコストの大してかからない玄関用採光パネルを提供するにある。

【構成】 採光用ガラス板2が嵌め込まれた玄関用採光パネルにおいて、採光用ガラス板2は1枚物であり、屋外側に採光用ガラス板2の一部を遮蔽する枠4が設けられている。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 採光用ガラス板が嵌め込まれた玄関用採光パネルにおいて、採光用ガラス板は 1 枚物であり、屋外側に採光用ガラス板の一部を遮蔽する棧が取付けられていることを特徴とする玄関用採光パネル。

【請求項 2】 採光用ガラス板が曇りガラス板であることを特徴とする請求項 1 記載の玄関用採光パネル。

【請求項 3】 玄関ドアに使用されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の玄関用採光パネル。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、採光用ガラス板が嵌め込まれた玄関用採光パネルに関し、玄関ドアや玄関袖パネルに使用して好適なものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、玄関ドアや玄関袖パネルとして、採光用ガラス板が嵌め込まれた玄関用採光パネルが知られており、出願人はこのような採光用ガラス板が嵌め込まれたものについて、先に、意匠登録出願している（平成 3 年意願登録第 28077 号）。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来の玄関用採光パネルにおいては、採光用ガラス板が嵌め込まただけであって意匠的にも単純であり、高級感を得るにも程遠いものであった。

【0004】 本発明は、従来の玄関用採光パネルにおける、このような問題点に着目してなされたものであり、その目的とするところは、上記の問題を解決し、高級感を得られ、しかもコストも大してかからない玄関用採光パネルを提供するにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、請求項 1 記載の玄関用採光パネルは、採光用ガラス板が嵌め込まれた玄関用採光パネルにおいて、採光用ガラス板は 1 枚物であり、屋外側に採光用ガラス板の一部を遮蔽する棧が取付けられていることを特徴とするものである。

【0006】 又、請求項 2 記載の玄関用採光パネルは、請求項 1 記載の玄関用採光パネルにおいて、採光用ガラス板が曇りガラス板であることを特徴とするものである。

【0007】 又、請求項 3 記載の玄関用採光パネルは、請求項 1 又は 2 記載の玄関用採光パネルにおいて、玄関ドアに使用されていることを特徴とするものである。

【0008】 請求項 1 記載の本発明玄関用採光パネルにおいて、採光用ガラス板としては、普通の無機ガラス板の他にアクリルガラス板等の有機ガラス板でもよい。請求項 1 記載の本発明玄関用採光パネルにおいて、棧の材質としては、特に限定されるものではないが、例えば、木材、アルミニウム、塗装鋼板、ステンレス鋼板、塩ビ

鋼板等を使用することかできる。

【0009】

【作用】 請求項 1 記載の本発明玄関用採光パネルにおいては、採光用ガラス板は 1 枚物であり、屋外側に採光用ガラス板の一部を遮蔽する棧が取付けられているので、屋外側においては、一枚物の採光用ガラス板を使用するものであるにも係わらず、あたかも複数枚の採光用ガラス板を使用したように見えて、高級感を出すことができ、一枚の採光用ガラス板を使用することによりコストは大してかからない。

【0010】 又、請求項 2 記載の玄関用採光パネルにおいては、採光用ガラス板が曇りガラス板であるので、屋外側の棧が屋内側から見えずに済み、意匠性の低下を防止できる。

【0011】 又、請求項 3 記載の玄関用採光パネルにおいては、玄関ドアに使用されているので、高級感のある玄関ドアとすることができる。

【0012】

【実施例】 次に、本発明の実施例を図面を参照しながら説明する。図 1 は本発明玄関用採光パネルの一例を示す正面図、図 2 は図 1 に示す本発明玄関用採光パネルの裏面図、図 3 は図 1 の I-I 線における断面図、図 4 は図 1 の V-V 線における断面図である。図 1、2 において、1 は本発明玄関用採光パネルの周囲に設けられた枠体、2 は縦長長方形の 1 枚物の曇りガラス板であり、曇りガラス板 2 は本発明玄関用採光パネルの屋外側においては、図 1 に示すように、2 か所の額縁 3 で囲まれた開口部 31 を通して露出され、本発明玄関用採光パネルの屋内側においては、図 2 に示すように、1 か所の額縁 3 で囲まれた開口部 31 を通して露出されている。

【0013】 枠体 1 は図 3、4 に示すように、溝型鋼 11 の間にハニカム構造体からなる芯材 12 が設けられ、表面材 13 が貼付けられて構成されている。図 3、4 に示すように、枠体 1 の内側の溝型鋼 11 に U 形金具 14 がビスねじ 15 により取付けられ、U 形金具 14 に額縁 3 がビスねじ 32 により取付けられ、U 形金具 14 の凹溝内に曇りガラス板 2 がゴム製パッキン 21 を介して支持されている。

【0014】 図 1、3 において、4 は縦長長方形の曇りガラス板 2 の屋外側の中央部を遮蔽する断面ハット形棧であり、棧 4 の両端部は額縁 3 の内方のゴム製パッキン 21 の凹溝内に挿入されている。

【0015】 【実施例の作用】 次に、図 1～4 に示す本発明玄関用採光パネルの作用を図 5 について説明する。図 5 は図 1～4 に示す本発明玄関用採光パネルを玄関袖パネルとして使用し、同様構造の本発明玄関用採光パネルを玄関ドアとして使用した玄関パネルを示す正面図である。図 5 において、A は図 1～4 に示す本発明玄関用採光パネルであって玄関袖パネルとして使用したもので

3

あり、Bは本発明玄関用採光パネルを玄関ドアとして使用したものである。

【0016】図5に示す玄関パネルにおいては、その屋外側においては、玄関袖パネルA及び玄関ドアBの各曇りガラス板2は2箇所の額縁3、3で囲まれた開口部31を通して露出され、曇りガラス板2の中央部は棧4により遮蔽されているので、あたかも2枚のガラス板を使用し、夫々ガラス板の周囲に額縁を設けたように見え、作成に手間のかかる贅沢な高級感をかもし出すことができる。実際は1枚物のガラス板2を使用しているだけで

【0017】曇りガラス板2を使用しているので、屋内側からはガラス板2の中央部を押さえる棧4の存在が明確には分からず意匠性を損なわない。尚、図5において、Fは玄関枠であり、この枠Fに玄関袖パネルA及び玄関ドアBが嵌め込まれ、Hは玄関ドアBと枠Fに取付けられた蝶番である。

【0018】以上、本発明の実施例を図により説明したが、本発明の具体的な構成は図示の実施例に限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲の設計変更は本発明に含まれる。例えば、図示の実施例においては、屋外側は2箇所の開口部31が設けられているが、3箇所以上の開口部が設けられていてもよい。又、枠体1の芯材として、実施例のように、ハニカム構造体を使用する代わりに断熱材を使用してもよい。

【0019】

【発明の効果】請求項1記載の本発明玄関用採光パネルにおいては、採光用ガラス板は1枚物であり、屋外側に採光用ガラス板の一部を遮蔽する棧が取付けられている

4

ので、屋外側においては、一枚物の採光用ガラス板を使用するものであるにも係わらず、あたかも複数枚の採光用ガラス板を使用したように見えて、高級感を出すことができ、一枚の採光用ガラス板を使用することによりコストは大してかからない。

【0020】又、請求項2記載の玄関用採光パネルにおいては、採光用ガラス板が曇りガラス板であるので、屋外側の棧が屋内側から見えずに済み、意匠性の低下を防止できる。

【0021】又、請求項3記載の玄関用採光パネルにおいては、玄関ドアに使用されているので、高級感のある玄関ドアとすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明玄関枠袖パネルの一例を示す正面図。

【図2】図1に示す本発明玄関枠袖パネルの裏面図。

【図3】図1のⅠⅠⅠ-ⅠⅠⅠ線における断面図。

【図4】図1にⅠⅤ-ⅠⅤ線における断面図。

【図5】本発明玄関用採光パネルの使用態様を示す正面図。

【符号の説明】

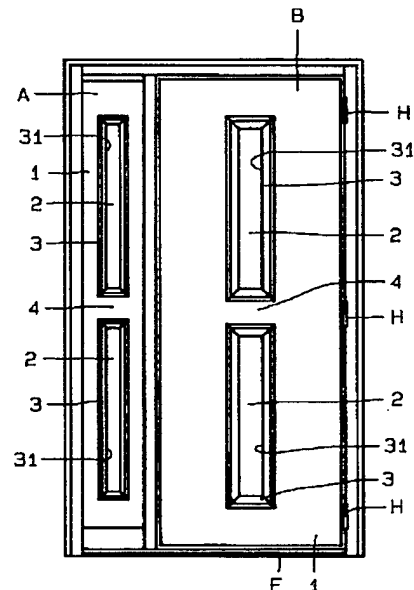
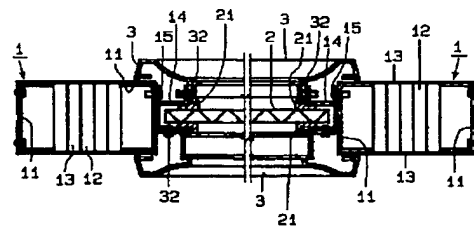
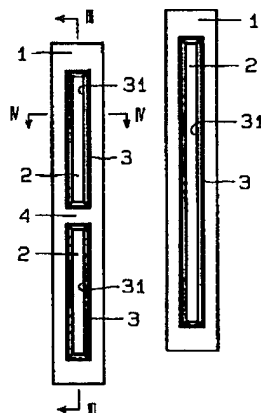
1	枠体
2	ガラス板
3	額縁
31	開口部
4	棧
A	玄関袖パネル
B	玄関ドア
F	玄関枠
H	蝶番

【図1】

【図2】

【図4】

【図5】



【図3】

